

(第一面)

# コンクリート工事施工状況・施工結果報告書

年 月 日

建築主事 様

報告者(建築主)住 所  
氏 名

下記建築物について、建築基準法第12条第5項の規定により施工状況・施工結果報告書を提出します。なお、この施工状況・施工結果報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

作成者	工事監理者	( )級建築士 (大臣・知事) 登録 第 ( ) 号	
		( )級建築士事務所 ( ) 登録 第 ( ) 号	
		住 所 TEL( )-( )-	
		氏 名	
工事施工者	施工者名	建設業許可(特定・一般) 第 ( ) 号	
		住 所 TEL( )-( )-	
		代 表 者	
工事名称			
建築場所			
建築主	住所		
住所・氏名	氏名		
設計者	( )級建築士 (大臣・知事) 登録 第 ( ) 号		
	( )級建築士事務所 ( ) 登録 第 ( ) 号		
		住 所 TEL( )-( )-	
		氏 名	
建築確認	年 月 日	第 ( ) 号	
用途等			
工事概要	工事種別	新築・増築・	
	構造	S・RC・WRC・SRC・PC・他( )	
	階数等	地下: 階 地上: 階 PH: 階 高さ: m	
	面積	建築面積: m <sup>2</sup> 延べ面積: m <sup>2</sup>	
建築確認後の構造関係変更事項	変更: 有・無 変更内容		
かぶり厚さの最小値(実測値) (単位: mm)	部 位	土に接しない部分	土に接する部分
	柱	屋外	屋内
	梁	屋外	屋内
	床	屋外	屋内
	耐力壁	屋外	屋内
	非耐力壁	屋外	屋内
	基礎		
	杭		
外壁仕上げの種類等	・タイル張り ・吹付タイル ・リシン吹付 ・ペイント塗り ・コンクリート打放し ・その他(具体的に) ( )		
使用材料等	セメント	種 類	ポルトランドセメント ・ 高炉セメント ・ シリカセメント ・ フライアッシュセメント
		種 別	
		製造工場	
	細骨材	産地	
		種別	
	粗骨材	産地	
		種別	
		最大寸法	
	混和材料	・AE剤 ・減水剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・流動化剤	
		・その他( )	
レディミクス トコンクリート	工場名		
	JIS番号	年 月 日 第 ( ) 号	
運搬時間	~ 分		
ポンプ車	機種名	能力	m <sup>3</sup> /h

(第二面)

コンクリート圧縮強度 試験結果に関する考察	
鉄筋継手の試験結果に 関する考察	
塩化物量測定結果に関 する考察	
アルカリ骨材反応対策 に関する考察	
その他 コンクリート・鉄筋・ かぶり厚等の材料の品 質・不具合の措置等 について	
添付図書	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンクリート調合計画表</li><li>・鉄筋継手の試験結果</li><li>・コンクリート圧縮強度の試験結果</li><li>・塩化物量の試験結果</li><li>・鉄筋鋼材品質証明(ミルシート)</li><li>・その他 ( )</li></ul>
記入上の注意	<ol style="list-style-type: none"><li>① 該当する確認事項・検査事項に○印を付け、必要事項を記入すること。</li><li>② この報告書に記載しきれない事項については、別紙にまとめること。</li><li>③ 添付図書の欄は、添付しているものについて○印を付けること。</li><li>④ 添付図書の各種検査結果は、第四・五面の検査結果表を利用し、出来るだけ一覧表にまとめること。</li></ol>

※ 鉄筋のミルシート（裏書きミルシート含む）、その他コンクリート、鉄筋の各種試験結果を原本で提出する場合は、書類提出時に担当者申し出下さい。検査終了後お返し致します。

## (第三面)

調 合 計 画	番号	打設部位	打設時期	コンクリートの種類	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	調合強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	空気量 (%)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/m <sup>3</sup> )	細骨材率 (%)
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
コ ン ク リ ー ト	塩化物量の予測						塩害対策(有・無)				
	<input type="checkbox"/> 0.3kg/m <sup>3</sup> 以下 <input type="checkbox"/> 0.30kg/m <sup>3</sup> を超え 0.60kg/m <sup>3</sup> 以下 <input type="checkbox"/> 0.60kg/m <sup>3</sup> を超える						<input type="checkbox"/> 調合(W/C %、スランブ cm) <input type="checkbox"/> 防せい剤 <input type="checkbox"/> 床下端の鉄筋のかぶり厚さ cm <input type="checkbox"/> その他 ( )				
劣 化 対 策	塩害の要因(有・無)						アルカリ骨材反応対策(有・無)				
	<input type="checkbox"/> 海砂 <input type="checkbox"/> 混和剤 <input type="checkbox"/> 海水中の塩分 <input type="checkbox"/> その他 ( )						<input type="checkbox"/> 無害骨材の使用 <input type="checkbox"/> 低アルカリ形セメントの使用 <input type="checkbox"/> アルカリ総量 kg/cm <sup>3</sup> <input type="checkbox"/> 混合セメントの使用				
	記入上の注意										
	①記入欄が足りない場合は、コピーして下さい。										

※ コンクリート調合表を原本で提出する場合は、提出時に担当者に申し出下さい。検査終了後お返し致します。

## (第四面)

鉄筋継手の試験検査結果 (検査ロットごとに記入のこと)						
ロットNo.	鉄筋継手の部位	鉄筋継手の工法	鉄筋の種類 試験方法	試験機関名 試験年月日	破断位置 合 否	検査ロットの 合否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否
		圧接・ ( )	SD /径D 引張・( )	年月日	母材(本)・接合部(本) 合格(本)・否(本)	合・否

## ※記入上の注意

①記入欄が足りない場合は、コピーしてください。

②鉄筋継手部位には、杭・基礎・地中梁・☆階柱・☆階梁等を記入すること。

※ 鉄筋のミルシート (裏書きミルシート含む) 、その他コンクリート、鉄筋の各種試験結果を原本で提出する場合は、書類提出時に担当者に申し出下さい。検査終了後お返し致します。

## (第五面)

コンクリートの試験検査結果 (検査ロットごとに記入のこと)

ロット NO.	コンクリート打 込箇所	コンクリート 打込年月日	コンクリート の種類	塩化物量 (kg/m <sup>3</sup> )	スラブ (cm)	空気量 (%)	養生温度 (℃)	設計基準強度 呼び強度	強度管理材令 圧縮強度①	圧縮強度②	圧縮強度③ 支柱除去材令	圧縮強度④ P S 導入材令	試験機関名
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	日 N/mm <sup>2</sup>	日	日	

## ※記入上の注意

①記入欄が足りない場合は、コピーしてください。

②コンクリート打込箇所には、杭・基礎・地中梁・☆階立上り・☆階床等を記入すること。

③圧縮強度①には受入検査(標準養生試験体)を、圧縮強度②には構造体コンクリート検査(現場水中養生・現場ふうかん養生・コア又は標準養生試験体)を、圧縮強度③には支柱除去時期決定用試験体(現場水中養生)を、圧縮強度④にはプレストレス導入時期決定用試験体(現場水中養生)の試験結果を記入すること。

※コンクリート圧縮試験結果を原本で提出する場合は、担当者に申し出下さい。検査終了後お返し致します。